

地域から政治を変える大きなチャンスです。



21世紀に入り10年が経ちました。各国では、新世紀に望ましい流れを自ら作り出すために、明確な国家戦略をスピード感を持って実行に移しています。来年は、米国大統領選挙、中国では権力の移行、ロシア、フランス、韓国でも大統領選挙が予定されています。2012年に向けて今年は、世界各地で国づくりのあり方を競い合う激動の年になるでしょう。

こうした世界の激しい流れの中で、日本の政治はビジョンを提示することもなく漂流しています。国会では、事実上破たんしたマニフェストをどう言い繕うかという低次元の議論に終始するばかりです。そして気がつけば、GDPは中国に抜かれ、日本国債の格付けはスペイン並みに格下げとなっていました。

最近の民主党政権は、旧い自民党の政策に近づいてきているように感

じます。つまり、改革を怠ったままバラマキの財源が足りないので増税するという論理です。先の総選挙で自民党が政権を失ったのは、自民党末期に改革を進めていく力が失速したからです。中にいた者として、改革政党に脱皮させることができなかった自らの力不足を深く反省しています。だからこそ、今、取り組むべきは、既得権益を打ち破って大胆に国の制度を改め、新しい時代にふさわしくつくりかえることです。

「国家の運営を担う者は、1円の税金の重みを知れ」。私が政治を学んだ松下幸之助の叫びです。その重みを知らない政治家が国家運営にあたると、税金を単に利権の分捕り合戦とし、無駄に使う。そして、それが財政の肥大化を生み、増税として国民にそのつけをまわす。私が政治を志した原点であるこの想いが、今、

鋭くよみがえります。やるべきことをやらずに国民に増税を押し付けるのは、政治家の責任放棄にほかなりません。

この春には、統一地方選挙が行われます。地域から政治の流れを変える大きなチャンスです。同じ志を持ち、まちづくりや議会改革をすすめてきた仲間とともに、閉塞感を打ち破る政治をつくりたい。経済と財政、社会保障を立て直す道筋を訴えながら、「一円の税金の重み」を知る納税者の視点で国家経営にもう一度当たらせていただくことができるよう、懸命に活動が続けてまいります。今後ともよろしくご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

伊藤達也

日経新聞に掲載されました



日本経済新聞社より依頼があり、「日本の財政を問う」というテーマで小論を寄稿しました。

行き詰まりつつある経済財政運営を打開し、日本を再生するには、経済成長、税財政、社会保障という異なる政策的アプローチからなる「三元連立方程式」を解くことが肝要です。現政権の取り組みに何が足りないのか、どうすればこの複雑な方程式を解くことができるのか、私なりの解法を提示しました。ご意見など頂戴できれば幸いです。

活動報告

参加させていただける地域の会合やイベントがあれば、ぜひお声掛けください。



講演活動

各地で講演をしています。



伊藤達也を支えてくださる皆様へ 6つのお願い

- その1：調布市・三鷹市・狛江市・稲城市にお住まいのお知り合いをご紹介ください
- その2：ミニ集会を開いてください
- その3：未使用の切手、コピー用紙やテレホンカード、文房具類をご寄付ください
- その4：ボランティア・スタッフをお待ちしています
- その5：ポスターを掲示させてください
- その6：フォーラム・フロンティアにご入会ください

正会員 年／1口 12,000円
 協力会員 年／1口 2,000円
 振込先 「フォーラムフロンティア」
 銀行口座 みずほ銀行 調布支店 普通 1816980

「フォーラムフロンティア」は、伊藤達也の政治資金を取り扱う1団体に限られた「資金管理団体」です。



ホームページをリニューアルしました

より見やすくリニューアルしました。
 は是非ご覧ください。

www.tatsuyaito.com



ご覧ください



プロフィール

1961年生まれ（49歳）／調布一小、調布中を経て慶大卒 松下政経塾入塾（5期生）／1987年 米国カリフォルニア州立大学院客員研究員 1993年衆議院議員初当選（以来、5期当選）／2000年 通産産業政策次官／2002年 金融担当副大臣／2003年 金融・経済財政政策担当副大臣／2004年 金融担当大臣／2005年 自民党政調会長補佐／2006年 自民党幹事長補佐／2008年 内閣総理大臣補佐官（社会保障担当）
 現在◎関西学院大学院 教授／千葉商科大学 客員教授／関西大学 客員教授／PHP総合研究所 特別研究員／松下政経塾 評議員／自民党22選挙区支部長
 著書◎「総理官邸の真実」PHP研究所 2010年

伊藤達也事務所

〒182・0024 調布市布田1・3・1ダイヤビル2F TEL 042・499・0501 FAX 042・481・5992 メール tatsuya@tatsuyaito.com